ON BOND OF TONDER **Appeal Corner**



🔊 伊豆山神社の祭典委員長を務めています。 晴れがましい舞台も 🕉 ₫ありますが、このような豆まきの袋詰め作業など地道な活動

是非一度神社にご参拝ください。 菅谷 正

HAPPY BIRTHDAY

2月 9日 勝又 隆吉 君 MENETTES HAPPY BIRTHDAY 2月28日 藤間 ツルさん

WEDDING ANIVERSARY

該当者ございません

海YMCA

白

句

会

蝋冬火煮煮 梅桜祭凝物 ţ 1) ţ 0) 0) 色 b . 蓮の 君に D 目 11 に寒の 叉の 日 よべの す É

ゆうほ 銀次部 隆吉 のり夫 和政 子ひろ

第 8 回 役員会 報告

書記 宝田 昌孝

2019年2月5日(火) 熱海 YMCA センター

勝又会長挨拶: 風邪が流行している中、元気でお集 まり頂き有りがとうございます。

1、DBC クラブ合同例会の件: グロリーは今回で3回 目と成りますが、合同例会は熱海クラブではなく、4 月24日(水)KKR ホテル熱海で3クラブ(名古屋、紀の 川)合同例会を開催する。

▶ DBC クラブ会員の会費 10,000 円

二次会・観光・宿泊費用はグローリークラブ負担:承

- **2、TOF の件**: 2月例会は TOF に沿った例会
- 3、次期会長に関する件:選考委員会(勝又、藤曲、 加藤君)を1月26日開催し候補者選出してお願いし たのですが承認を得られず次期会長は未定。依ってこ の件を含め2月例会にて全体会議を開く。
- 4、富士山部次期長田部長より要請があり、国際交流 事業主査に陣内康策君を選出・・・・承認

委員会報告

プログラム:例会プログラムの通り。

ドライバー: DBC 合同例会 議題の通り

会報・広報:校正 19 日(火)発送準備 18 時、

発送20日(水)アンケート用紙同封

睦:日帰り旅行を5月に計画、希望地を募り ブリテンに掲載する

CS・ TOF:特に無し

YMCA・ASF・EMC・会則:特に無し

BF·EF·IBC·DBC·YEEP:年賀はがき当選切手等は、

2月例会に収集

東日本区に奈良傳賞: 推薦者発表

受賞者の条件:ワイズメンズクラブ及び YMCA の会

員歴30年以上で、60歳以上の会員

出席者; 勝又,藤間,宝田、陣内,菅谷,高橋(敏),綾野、小野田 (8名)

イベント の

- ◎2月27日(水) 切手収集キャンペーン(例会に収集) 当選番号下2桁 78、42、02
- ◎2019年6月1日(土)~2日(日)第22回東日本区大会 会場:国立オリンピック記念青少年総合センター

2019 年 3月 例会担当 予告 3月27日(水) <mark>場 所</mark> YMCAセンター 受 陣内 康策君 高橋 四郎君 宝田 昌孝君 開会の祈り勝又 隆吉君 ワイズの信条高橋 敏雄君 食前の祈り加藤 博君 閉会の言葉 菅谷 正君

"To ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT" (International Motto)

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA



Y'SMEN'S CLUB OF

Atami Glory

2019

No.414

CHATERED 2.May.1984

P.O.BOX 44ATAMI 熱海郵便局私書箱44号

国際会長主題

"Yes ,We can change" 『私たちは変えられる』 東日本区理事主題

『為せば、成る』

" No challenge, No fruit"

今月の聖句 ……

いかに幸いなことか 知恵によって得るものは 銀によって得るものにまさり

箴言 2 章 14 節

アジア地域会長主題 "Action"

『アクション』 富士山部部長主題

『生き活き!ワクワク!仲間と共に!』

クラブ会長主題 『奉仕は、元気で仲良く』 "The Service with Lively and Friendly"

·-···· 2019年度2月TOF例会プログラ

日 2月 27日(水) 18:30~21:00

会 熱海YMCAセンター

受 付 陣内康策 君 藤曲敬宏 君 司 숲 中田 稔君

開会点鐘 勝又隆吉 君 聖句朗読・開会の祈り 藤間孝夫君 国家斉唱・ワイズソング 全 ワイズの信条・主題唱和 高橋四郎 君 会長挨拶 勝又隆吉 君 ゲストビジター紹介 会 長 勝又降吉 君

書記報告 宝田昌孝 君 食前の言葉 江馬 一君

会食

委員会報告 各委員会 誕生日・結婚記念日祝 司会者 スマイル 親睦委員会

「スピーチテーマ 記憶に残る旅」

次期会長に関する件 出席・スマイル・Y基金報告 閉会の言葉

勝又隆吉 君 各クラブ委員会

綾野憲夫 君

2019 年 1月 例会 報告

会長 勝又 隆吉

グローリークラブの新年例会は,富士山部長の公式訪 問を受け 1 月 23 日、KKR ホテル熱海で開催された。

いつもの例会より多数の出席を頂きありがとうござ いました。先ずは点鐘に始まり、儀式は粛々と執り行わ れた。

そして、部長の挨拶、平成は終り新しい時代に入るこ の時期に部長職に就き色々と期することも多々あった と思います。後半期、更なる活躍を期待して居ります

栗本直前理事に続き、前原末子地域奉仕、札埜国際交 流とそれぞれの事業主査の挨拶があった。グローリーの メンバーもなかなかこの様な機会が無かったので大変 参考になり、勉強になったかと思います。



例会のメイン であるスマイル は新年でありま すので出席者全 員に一言づつス ピーチをお願い する。皆様が自分 の思いや抱負等 をユーモアを交 えてスピーチ、会

場は笑いあり拍手あり、賑やかな雰囲気で大盛況。この様に和やかな空間の中で親交を深め、お互いに情報交換し合 い交流する事が他クラブ訪問の最高のメリットだと思います。最後に本日の例会は大変良かったと富士山部長から誉 められました。本日の司会の小野田ワイズ、落ち着いた司会大変結構でした。ご苦労様でした

1 月例会実績

在籍者 17	名 (内セニア会員	員2名)	スマイル&YMCA	基金	BF	目標 1人	8,000pt
出席者	16名	ゲスト	名	スマイル	23,650 円	現金	È pt	切手 P
メーキャップ	名	ビジター	9名	スマイル累計	198,750 円	1月	16,000円	
出席率	100%	メネット	名	YMCA 基金	3,816 円	累 計 1	04,000 円	
月訂正出席率	%	出席者合計	25 名	YMCA 基金累計	30,932 円	総計	円	

例会日・毎月第4水曜日18:30~21:00

KKRホテル熱海 ※熱海YMCAセンター

25 0557-85-2000

勝叉会長 西山町26-3 **25** 0557-82-8521

25 0557-82-3588

"奉仕は,元気で仲良く

会報・広報委員: 綾野 憲夫 委員長・小野田 政弘 副委員長







富士山部第二回役員・評議会

平成最後の第二回富士山部、役員、評議会が1月27日 、熱海 YMCA センターで開催された。インフルエンザが 蔓延している中、最初に大村ワイズの明快な司会で、役 員会が開催された。恒例のセレモニーの後、渡辺実帆部 長の挨拶から報告事項に入る。

部の主査、各クラブ会長の前期報告は、評議会の中で 報告するので割愛する。審議はスムーズに進行し、次期 部長に選出された下田クラブ長田ワイズより部役員承認 の件、そして部側の件等々議案提案があり審議された。

続いて評議会に入る。提案された議案が次々に承認さ れ、拍手喝采でで審議終了。富士山部の歌を斉唱して評 議会は無事終了した。

引き続き新年会に入る。出席者32名、テーブル上には いくつものお弁当、飲み物も運ばれて、乾杯に始まり、懇 親会に入る。暫く懇談の後、宴が佳境。出席者全員にそれ ぞれの想いをスピーチしてもらう。外は暗く、しかし、時 間はたっぷり。会場の雰囲気は笑いあり、ユーモアを交 えてのお話が長く続き誠に大盛況であった。さすが富士 山部のチームワークの良さと底力を感じました。久しぶ りの光景に感嘆しました。

このような場を設けた部関係者に心より感謝いたしま す色々有難うございました。

報告事項

1、富士山部次期役員構成

長田 俊児 (下田クラブ) 臼井 啓太郎 (下田クラブ) 書記 牛田 俊夫 (伊東クラブ) 会計 副書記 清野 大樹 (下田クラブ)

主査 国際交流事業 陣内康策(熱海グローリー) 会員増強事業 青木利治 (三島クラブ) 地域奉仕 Y サ事業 井上暉英 (富士クラブ) ユース事業 青木義美(熱海クラブ)

各クラブ会長

熱海クラブ 深瀬勇弘 熱海 G クラブ 沼津クラブ 杉山道子 御殿場クラブ 高橋啓子 伊東クラブ 久保田康正 富士クラブ 吉澤廣美 三島クラブ 石川敏也 富士宮クラブ 石川泰仁 下田クラブ 土屋 誠

2 後記坐任報

2、饭癿十十和											
クラブ名	2018/7/1 会員数	2019/1/1 会員数	クラブ名	2018/7/1 会員数	2019/1/1 会員数						
熱海	46	45	熱海 G	17	17						
沼津	18	18	御殿場	24	24						
伊東	24	24	富士	16	16						
三島	11	13	富士宮	19	19						
下田	8	7	合計	183	183						

3、富士山部翼下の9クラブに対してCS基金の交付金が 3万円~5万円の範囲で決定し、グローリークラブは3 万円となりました。

使用済み切手収集の意義と実践

BF 委員会 会報広報委員会

BFのメイン事業である古切手収集の締切日、2月 15日が過ぎました。我がクラブの集計はこれから ですが、この活動の意義と実践の流れを確認し、今 後の参考にしていきましょう。

BF は Brotherhood Fund の略で、ワイズメンが BF

代表や国際役員と して公式の旅行を するために積み立 てられる基金で す。この資金を捻 出するための一つ が使用済み切手集 運動ですが、かつ てはこの活動によ



る資金集めが主な方法でした。

古切手市場の相場にも影響され、今はグローリー の例会時に集められる BF 基金 1 千円のように現金 で集めるのが大勢になっています。

費用対効果を考えると使用済み切手収集は労多 くして功少なしの典型です。日本切手は1キログラ ム集めて600円、外国切手は1000円です。上の写真 は我がわがクラブの実績ですが600円には届きま せん。しかしながらこの活動は、スタート時の「無 から有を生み出す」精神の伝承として生き続けてい ます。経済合理性だけでなく、ワイズメンの気持ちの つながりとか、一緒に収集する行為を通じて家族等と 共通の話題を楽しむ姿勢も有意義なこと考えられま

具体的な切手集めの注意!!

〇切手の切り方

- ・切手の周りを3~5mm程の余白を付けて切り取る
- ・複数の切手が貼ってある場合も、切手全部に沿って 3 ~ 5 mmの幅で切り取る

☆除外する切手

- 傷、欠けのあるもの
- 汚れたもの
- ・剥がしたもの、台紙から剥がした切手、一度剥がして 台紙に貼りなおした切手
- ・段ボールなど厚紙に貼った切手
- ・傷やセロハンテープの付いた切手
- 料金別納に使用した、シートのまま消印されたもの





↑上の写真のように微妙な

コーナーのメジ欠けも除外品になりますので注意!

解説「鉄砲を捨てた日本人」

日本史に学ぶ軍縮

鉄砲が日本に伝わった事始は、種子島の領主と中国 人商人五峯との射撃の訓練を受ける取り決めから始ま りました。

それから一ヶ月も経たぬうちにポルトガルの鉄砲を 2 挺購入した。領主は1 挺に金1 千両を投じたといわ れている。その額が今日にしてどの位のものか、正確 ₹な換算は難しい。だがその 70 年後には立派な鉄砲 1 挺が日本では 6 両で買えた。それはあたかもウインチ エスター・ライフル銃が当初 1 挺 1 万ドルであったの が、やがて 20 ドルに下落したようなものだ。 60 年後 でも、一月に 6 両といえば職人の給金として相当のも 《のと見なされていた時代である。

領主は鉄砲を購入した日、ただちに家臣の刀工の八 板金兵衛に命じて鉄砲の模倣製作にあたらせたが、こ れにまつわる悲話がある。鉄砲の底を塞ぐ方法がどう してもわからず、数ヶ月後に着岸したポルトガル船の 船長に、17歳になる自分の娘をやり、その見返りに戦 中にいた一人の鉄匠を師として底を塞ぐ方法を習得し たという。

悲話の真偽はともかくとして、1年と経たぬまに、 八板は 10 挺の鉄砲を処女製作し、それから 10 年もす

ると、日本じゅう の鉄砲鍛冶がこ の新式の武器を 大量に製造する にいたった。

1549 年に織田 信長が 5 百挺の 種子島銃を注文 したことを示す



資料が現存する。 ↑ 八板金兵衛清定の像(西之表市)

日本の武士が急速に身につけるにいたった鉄砲の使 用法を伝える「鉄砲記」という資料もある。「鉄砲記」は 1540 年代半ば種子島の領主が鉄砲修練に励んだ有様 をこう描いている。「朝にみがき夕にきよめ、勤めてや まず、さきのほとんどちかきもの、これにおいて百発 百中、一つとして失うものなし」と。

「ポルトガル人が日本人に鉄砲を伝えた」という事 実をもちだして、日本人の鉄砲の使用を過小評価すべ きものではない。実際のところ、どこの国をみても、そ の国で武器が発達した背景には、外国からなにがしか の影響をうけているのである。

たとえば、日本に鉄砲が伝来したのと同じ年、鋳鉄 製の大砲がイギリスに伝わった。イギリスの大砲はそ れまではすべて青銅製で、良質ながらも値がはった。 だが 1543 年にフランスの鉄匠がイギリスのサセック ス州の金属工にそれまでより安上がりの鉄製大砲を作 らせ、それが特産品となり、しかるべき声価を博した のである。その起源をただせば「外国の技術援助、外国 人の職人なのである。」